

題材名・単元名	学部	授業名(主たる教科領域)	授業者
多角形と円	中	国語・数学 Iグループ (数学)	宮北香織
<p>&lt;ねらい&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>身近に使われている図形に興味をもつ。</li> <li>図形の基本を知る。</li> <li>円と正多角形の関連性に気づく。</li> </ul>			
学習内容	学習活動	指導上の留意点・準備物	
①はじまりのあいさつ	①・指名された生徒が挨拶をする。		
②身近な物に使われている図形について	②・三角形・四角形などで作られた身の周りの物を探して発表する。 (例) 三角形→止まれの標識、ハンガー 四角形→食パン、本、教室 五角形→サッカーボールに12個 (+六角形20個で完成) 六角形→おみくじの箱、お菓子の箱	<ul style="list-style-type: none"> <li>思いつかない際には例のような物を提示してヒントを出したり、ipodで探したりさせる。</li> <li>身近な物にはたくさんの図形が使われていることを知らせる。また最終的には自分が作りたい形を設計することを知らせる。</li> </ul>	
③多角形の角と辺の数について	③・直線だけで囲まれた図形を「多角形」ということを知る。 ・三角形、四角形、五角形、六角形を自分で書いて、角と辺の数を数えて確かめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>多角形の角と線の数の規則性に気づかせる。</li> </ul>	
④プリント学習	④プリント学習をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>プリントの穴埋めをして、学習内容の定着を図る。</li> </ul>	
⑤正多角形について	⑤・コンパスを用いて円を描き、2回折って円を切ると正方形、3回切ると正八角形、4回折ると正16角形ができることを知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンパス、分度器、はさみを用いて実際に正多角形を作って確かめさせる。</li> <li>正多角形の性質や角が中心を等分していることを知らせる。</li> </ul>	
⑥おわりのあいさつ	⑥・指名された生徒が挨拶する。		
<p>&lt;内容(工夫点など)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新たにコンパスを使用して、モチベーションを高めた。</li> </ul>			

